

1年 道徳通信

〇〇〇立〇〇〇中学校
1年 〇組担任 〇〇〇〇

◎「今日の道徳授業」の紹介

教材名 23「本が泣いています」

ねらい： 主人公の悩みをもとに、図書館が抱える問題を話し合う中で、公共の精神についての理解を深め、よりよい社会の実現に努めようとする意欲を育てます。

■教材の内容について

本教材は、ある市立図書館司書の主人公が、図書館の本が傷つけられ、持ち去られるといった問題に苦慮する姿を描いた実話に基づいています。主人公は、本や図書館、ひいては利用者の利益を守るために、利用者の行動を監視、管理する必要性に思い悩み、規制の少ない、より便利で自由な図書館を実現したいと願い、問題の解決のために知恵を絞り、行動を起こしています。そのような主人公の思いや行動は、「社会参画の意識」や「社会連帯の自覚」、「公共の精神を持ってよりよい社会の実現に努める態度」の好例です。本教材は公共の精神について考えを深める学習にふさわしく、教材のような「公共の精神」が問われる経験に、生徒もまた幾度となく直面しているはずです。そうした経験を想起しながら、主人公の思いや行動について考えることで、自らもまた「公共の精神」に関わる問題の当事者の一人である、と自覚し、「公共の精神」の理解と「公共の精神」に関わる思考を深めることができます。

■生徒の実態について

中学1年生の生徒の内面には、自己中心的で自分勝手な言動をよくないと考え、よりよい公共の場を実現したいという思いがしっかりとあります。図書館の利用という具体的な問題を取り上げることで、公共の施設の在り方やその利用の仕方を自分のこととして考える姿勢を引き出します。

■ご家庭へ

この教材は、公共の施設である市立図書館での出来事です。自分のことしか考えない人が他の人に迷惑をかけていることに対する岩井さんの行動を通して公共の精神について考えさせてくれます。このようなことは図書館以外の場でもあります。ご家庭においても、公共の場所での過ごし方や公共物の扱い方について話し合い、公共の精神を持って行動することの大切さについて考えていただきたいと思います。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・キリトリセン・・・・・・・・・・・・・・・・

◇ご意見やご感想、家庭でお子さんと話題にしたことなどぜひお寄せください。()